

# べっぷ 市議会だより



No.154  
2021.2.1

©Team Beppyon

思いやりと支え合いの心で、差別や偏見のない“べっぷ”へ

## CONTENTS

- P 2 主な議案の概要
- P 3 議決結果
- P 4 議案質疑・常任委員会審査
- P 5~11 一般質問（16名が市政を問う）
- P12 所管事務調査、編集後記 ほか



# 令和2年第4回定例会で38の議案を可決!

11月30日から12月15日までの16日間にわたり開催された今定例会では、予算関係9件、条例関係11件、その他13件の議案が上程されました。

また、最終日には市長より追加議案として、予算関係2件、さらに議会より、議員提出議案3件、議員派遣1件が上程されました。

市長提案理由では、将来にわたり安全・安心な学校給食を提供するため、令和5年9月の給食提供開始を目指して整備する新共同調理場の説明に加え、新型コロナウイルス感染症患者の増加を受け、自主的に営業を自粛す

る事業者に対し、営業再開までの期間を支援するため追加された事業継続支援金の支給等に係る経費の計上等について説明があり、「学校給食共同調理場建設事業の債務負担行為」「新型コロナウイルス感染症緊急支援に要する経費」等の関連議案については、議案質疑で活発な議論が行われました。

採決においては、2件の議案について、一部議員から反対する旨の意思表示があり、そのうち議員提出議案1件が否決されました。その他の議案については、すべて原案のとおり可決等すべきものと決定しました。

## ～主な議案の概要～

### ●一般会計補正予算(第9号) 12月定例会

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています

**基金積立金**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **10,100万円**

新図書館への図書購入費寄附金と競輪事業収入を「べっぷ未来共創基金」に積み立てます。

**自立支援給付に要する経費**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **35,799万円**

**障害児通所支援に要する経費**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **18,015万円**

事業所数や定員数の増加などに伴い、扶助費を追加します。

**学校給食共同調理場建設に要する経費(債務負担行為)**・・・・・・・・ **388,973万円**

調理場や配膳室の設計、工事及び工事監理を実施するための債務負担行為。

**指定管理料(債務負担行為)**

不老泉ほか3施設指定管理料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17,310万円など

### ●一般会計補正予算(第11号) 12月定例会

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています

**新型コロナウイルス感染拡大防止に要する経費**・・・・・・・・・・・・ **2,520万円**

**別新型コロナウイルス感染症緊急支援に要する経費(追加額)**・・・・ **8,400万円**

接待を伴う飲食店等の自主的な営業自粛に対し、事業の再開・継続のための支援を行います。また、当該飲食店等における感染拡大防止を徹底するためのPCR検査等を行います。

### ●条例の一部改正

**別府市多世代交流健康増進複合施設の設置及び管理に関する条例の制定について**

**別府市児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正について**

**別府市子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の制定について**

保育所、子育て支援センター、児童館及び地域交流センターを併設した複合施設が建設されたことに伴い、関係条例を制定及び改正しようとするものです。

### ●その他

**指定管理者の指定について**

市営温泉及び市営住宅等の公の施設を管理する団体を指定します。

# 第4回定例会における議案等の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果	
議第130号	令和2年度別府市一般会計補正予算(第8号)	原案可決 (全会一致)	議第150号	指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)	
議第131号	令和2年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		議第151号	指定管理者の指定について		
議第132号	令和2年度別府市競輪事業特別会計補正予算(第2号)		議第152号	指定管理者の指定について		
議第133号	令和2年度別府市地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)		議第153号	指定管理者の指定について		
議第134号	令和2年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		議第154号	指定管理者の指定について		
議第135号	令和2年度別府市一般会計補正予算(第9号)	原案可決 (賛成多数)	議第155号	指定管理者の指定について		原案可決 (全会一致)
議第136号	令和2年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	議第156号	指定管理者の指定について			
議第137号	令和2年度別府市競輪事業特別会計補正予算(第3号)	議第157号	指定管理者の指定について			
議第138号	令和2年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	議第158号	指定管理者の指定について			
議第139号	特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について	議第159号	指定管理者の指定について			
議第140号	別府市職員の給与に関する条例等の一部改正について	議第160号	指定管理者の指定について			
議第141号	別府市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について	議第161号	指定管理者の指定について			
議第142号	別府市税特別措置条例の一部改正について	議第162号	市長専決処分について	承認 (全会一致)		
議第143号	別府市多世代交流健康増進複合施設の設置及び管理に関する条例の制定について	議第163号	令和2年度別府市一般会計補正予算(第10号)	原案可決 (全会一致)		
議第144号	別府市児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	議第164号	令和2年度別府市一般会計補正予算(第11号)			
議第145号	別府市子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の制定について	議員提出議案第8号	犯罪被害者支援の充実を求める意見書			
議第146号	別府市国民健康保険税条例の一部改正について	議員提出議案第9号	不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書			
議第147号	別府市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	議員提出議案第10号	今こそ小中学校の全学年で少人数学級の実現を求める意見書		原案否決 (賛成少数)	
議第148号	別府市消防団条例の一部改正について	議案第11号	市長専決処分について	報告		
議第149号	別府市火災予防条例の一部改正について		議員派遣	原案可決 (全会一致)		

## 賛否の分かれた議案等賛否一覧表

議案番号	件名	議決結果	会派・議員名																						
			自民党議員団 11人											公明党 4人		自民新公会 3人		市民クラブ 3人		日本共産党議員団 2人		実行部 1人			
			首藤正	河野数	野口哲	松川生	黒川愛	松川三	安部一	手束貴	阿部真	日名敦	梶田貢	堀本博	市原隆	荒金卓	穴井宏	山本一	森野大	小野正	加藤信	森山治	三重忠	平野文	美馬活
議第135号	令和2年度別府市一般会計補正予算(第9号)	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第10号	今こそ小中学校の全学年で少人数学級の実現を求める意見書	否決(少数)	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」(採決に加わらない為)、法律により、採決に加われない議案は「除」

# 議案質疑

今定例会の議案質疑では、執行部が提出した令和2年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、6名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

## 学校給食共同調理場について

**問** 開設までのスケジュールは。

**答** 令和2年度中には、設計・施工する事業者の公告を行います。令和3年度に事業者を選定し、建物の実施設計を行い、令和4年度から本体工事を始めます。令和5年7月に調理場が完成しますので、学校が夏休みとなる8月に調理員が準備作業を行い、令和5年9月から開業する予定です。

## 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 緊急雇用の状況は。

**答** 任用者の実人員は318人となっており、10月末時点では201人の方が勤務されています。任用者が任用前に従事していた業種別では、宿泊関連産業が202人で最も多く、飲食

業が25人、観光施設等14人、販売業13人、運輸業11人となっています。現在従事している業務の内容は、施設の除菌・清掃、地区公民館や上下水道局等での除菌液の配布及び事務補助等です。また、これまでの人件費の支払い実績は報酬として約9千万円を支給しています。

## 新型コロナウイルス感染症緊急支援及び感染防止に対する追加補正予算について

**問** 事業の概要は。

**答** スナックやバーなどの複数の店舗では、第3波と考えられる多数の感染が確認されています。この事態を受け、一刻も早く感染拡大を食い止めるため、感染者が多いとされる接待を伴う飲食店等に対し、感染拡大の防止を徹底するため14日間連続して、自主的に営業を自粛する事業者に対し、営業再開までの期間を支援するため、1店舗あたり事業継続支援金28万円を支給するものです。対象者はスナックやバーなど主に酒類を提供し、接待を伴う店舗を運営する中小企業者及び個人事業主で300店舗を想定しています。また、感染防止対策については、事業継続支援金の対象となった店舗等の経営者や従業員等の希望者に対して定期的なPCR検査を別府市の負担で実施するものです。

# 常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。

各常任委員会に付託された全ての議案について、賛成多数で原案のとおり可決（承認）すべきものと決定しました。

## 総務企画消防委員会

消防団員の資格要件を見直すこと等に伴い、別府市消防団条例の一部を改正するとの説明がありました。委員から、新たに入団する学生についての質疑に対し、当局から学生の入団についても、報酬が支給され、平時の活動としては防災訓練の参加や、啓発活動等を行うとの説明がありました。

## 観光建設水道委員会

温泉課が所管する温泉施設の指定管理者の指

定について、指定管理を行わせる団体や選定経過等に関し、詳細な説明があり、そのうち、別府海浜砂湯については、別府市公の施設指定管理候補者選定方法等検討委員会からの答申に基づき、選定方法は非公募とし、指定管理期間は2年間としたとの説明がありました。委員からは、指定管理者に選定された各団体に対し、温泉施設の管理状況等について適切な指導を行ってほしい旨の要望がありました。

## 厚生環境教育委員会

『議第143号 別府市多世代交流健康増進複合施設の設置及び管理に関する条例の制定について』では、委員からの中央保育所の移転により待機児童問題は解消されるのかとの質疑に対し、当局から、新しい施設に対する市民の期待感は大きく、申込者数が増加することで、解消は厳しさを増すと予想されるが、待機児童を出さないよう、保育士の確保等に努めていきたい旨の答弁がありました。



# 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。12月議会では16名の議員が市当局の見解をただしました。主な内容は次のとおりです。スマートフォン等で各議員のQRコードを読み取ることで、一般質問の録画中継にアクセスができます

自民党議員団

ひなこあつこ  
日名子敦子 議員



## 南子育て仲よしクラブ移転について

**問** 移転に至る経緯とは。

**答** 隣接する市有地の売却が今年度の公共施設マネジメント推進会議で正式に決まったことから、南子育て仲よしクラブが使用している市有地も一体として売却することがきわめて有益との判断により、移転をお願いします。

**問** 移転先についての考えは。

**答** 建設中の別府市多世代交流健康増進複合施設内へ移転する公立の中央保育所の跡地への移転を考えています。

**問** 移転にあたり、改修等を考えているか。

**答** 児童クラブの代表者・支援員等と現地を確認し、改修等の必要性を協議していきたくと考えています。

**問** 移転時期はいつ頃を考えているか。

**答** 中央保育所が南部の複合施設に移転後、工事期間等を考慮しますと早くとも令和3年夏以降となるものと想定されます。

**問** 移転後は、どの程度の期間その場所で運営できると考えてよいのか。

**答** 子ども達をお預かりする場所が頻繁に変わることは、放課後児童クラブの運営上も好ましくないと考えていますので、中央保育所跡地にて引き続き当分の間運営して頂くことを考えています。

自民党議員団

かわの かずのり  
河野 数則 議員



## 道路行政について

**問** 市街化区域と市街化調整区域が混同している地域の道路調査は行っているか。また、

市街化調整区域、中山間地域においては、道路に縁石や側溝もなく、アスファルトを敷いただけの状況の道路がある。離合する際に、人がよける場所もなく、車が田畑に転落することも多々あり、大変困っているという話を聞いている。行政として、そういった地域の道路事情にも目を向けるべきではないか。

**答** 市街化区域、市街化調整区域が混同している地域の道路調査を行ったことはありません。今後はそのような地域につきましても道路事情や状況について調査し、可能な範囲での改修等を行っていきたくと考えています。

公明党

あな い こう し  
穴井 宏二 議員



## 発達障害について

**問** 改正発達障害者支援法は、行政に対し、発達障害者のため、さらなる教育の充実を求めた規定となっているが、その第1条と第5条の大意はどのようになっているか。

**答** 第1条は、「すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し共生する社会の実現」また第5条は、「発達障害の早期発見や当該児童の保護者に対する継続的な相談、情報の提供及び助言に努め児童及び保護者の意思を尊重し、必要な配慮をすること等、市町村の役割」についてまとめられています。

**問** 発達障害は、かつては「育て方がわるい」「努力が足りない」などと考えられ、当事者の方は多くの面で困難を抱えてきた。子どもに関する悩みや要望など受け止めてもらえないとの声もある。寄り添った相談体制、小中の連携など十分な納得のいく対応をお願いしたい。

**答** 発達障害のある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を行っていくことは大切であり、学校と保護者の連携は不可欠です。特にお子さんが中学校に進学する際は、保護者も大きな不安を抱えているこ

とを十分に踏まえ、各学校においては、保護者の思いや願いを受け止め、支援に必要な情報を収集した上で支援体制の充実を図るよう指導していきます。



自民党議員団

まつ かわ みね お

松川 峰生 議員



## 学校給食費徴収・管理業務について

**問** 文科省は学校給食費の徴収・管理業務について、全国の教育委員会の74%が学校に委ねているとの調査報告を発表している。国は「学校における働き方改革」の具体化に向け、教職員の負担を軽減するため、給食費を自治体の会計に組み入れる「公会計化」を促し、徴収・管理を自治体の業務とする指針を示しているが、なぜ公会計化を促す指針を示しているのか。

**答** 令和元年7月31日付けで文科省初等中等教育局長からありました「学校給食費等の徴収に関する公会計化の推進について」の通知では、教員の負担軽減等の観点から、学校給食費は、地方公共団体の会計に組み入れる「公会計制度」を採用するとともに、徴収・管理を学校ではなく、地方公共団体が自らの業務として行うことを一層推進するように、と示されています。そのため本市でも「公会計制度」を導入し、教員の負担軽減等を図っていきたいと考えています。

**問** この公会計制度導入の根底にあるのが、教員不足により増え続ける教員の負担の軽減を図ることであり、教員が子どもの指導に専念できる環境づくりにつなげたいとの考えがあると思うが、給食費徴収の公会計化について、市教委としての今後の対応は。

**答** 別府市では、公会計化に向けて準備を進めており、他市町村の状況調査や業者のヒアリングなどを行っているところです。令和5年9月に新学校給食共同調理場の開設を予定していますので、それにあわせて令和5年4月

から公会計化がスタートできるよう、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

行財政改革クラブ

いずみ たけ ひろ

泉 武弘 議員



## なぜ、価額競争をさせないのか

**問** 市は平成29年に産業連携機構（B-bizLINK）を設立し、これまで負担金2億7,200万円、事業委託金2億600万円、合計約4億7,000万円を支出している。ところが、産業連携機構は、市からの委託事業のうち、1億1,370万円を他の業者に再委託している。市の委託金額と産業連携機構が他の業者に再委託した差額が9,300万円となっているが間違いはないか。

**答** そのとおりです。

**問** 産業連携機構と同じ仕事ができる業者は、全国には6,814社、そのうち別府市に入札登録をしている業者が36社ある。産業連携機構には業者登録、資格審査、入札ルール、業者選定制度はあるのか。

**答** ありません。

**問** 財務大臣通達で一括再委託の禁止方針が示されている。事業の財源は税金なのに、産業連携機構は再委託を価格競争のない随意契約でしている。このような税金の使い方には大きな問題があり是正すべきである。

**答** ご指摘の点について、改善すべきところは改善したいと考えています。

公明党

あら かね たく お

荒金 卓雄 議員



## 自治体のオープンデータの取り組みについて

**問** 別府市におけるオープンデータの取り組みの状況は。

**答** 本市は、平成31年3月にオープンデータを公開しています。現時点のオープンデータの数としては、「別府市の人口」など60種類、データ数は、「毎月の人口及び世帯数の推移」、「町

別5歳区分人口集計」など932データをオープンデータとして公開しています。

**問** 市のデータはPDF形式のファイルが多いと感じる。二次利用が容易なエクセル形式などで公開することはできないか。

**答** 今後、PDFファイルとともに二次利用しやすい形式のファイルの提供に順次取り組んでいきたいと考えています。

**問** オープンデータの取り組みの広報・周知をどの様に実施しているか。

**答** 今年度から県が中心となり「おおいたオープンデータ推進協議会」を設置し、県内の市町村と共同でオープンデータの推進を図る取り組みを始めています。市としても既存の広報媒体に加え、デジタルによるプッシュ型の周知方法なども利用して周知を行っていきたいと考えています。

**問** 市のオープンデータを小中学校の授業の実習教材として利用できるかと考えるが、取り組みはどうか。

**答** オープンデータの活用として非常に効果的な取り組みだと思いますので、実現の可能性について関係課と調査、研究したいと思っています。

日本共産党議員団

み ま きょう こ

美馬 恭子 議員



## コロナウイルス第3波の中で

**問** 別府市でも感染者が多く、介護施設でも感染者が出ている。大分県内でのPCR検査数はどうなっているか。

**答** 大分県内での1日当たりのPCR検査数は845件、抗原検査も含めた診療、検査対応可能な医療機関は502医療機関となっています。

**問** 介護施設等をはじめ無症状者に対する検査や定期的な検査体制の構築が必要と考えるがその点はどうか。

**答** 市内における診療、検査体制を充実させるため、別府市医師会等と連携、協議を重ねながら、変化していく状況に対応すべく取り組んでいきたいと考えています。

**問** 市民の命を守り、感染拡大防止につながるように、中でも介護施設等の職員に対して定期的な検査を実施できるような体制作りを

大分県等に要望してほしいと考えているが。

**答** 有症者への検査体制を整えている中で、無症状者の対応ができる医療機関の確保、検査に伴う人材や資材の確保、また検査の回数や陽性者が発生した場合の対応等、様々な課題があり、大分県や別府市医師会等とも調整を重ねていく必要があるため、現時点では厳しいと考えますが、要望については、今後、医師会と協議をしていきたいと考えています。

**問** コロナが感染拡大し始めた2月から医療・介護で働く人たちは厳しい環境の中でも頑張っている。この方々に対する精神的フォローはどのようになっているか。

**答** 大分県では、クラスターが発生した様々な施設や医療従事者等に向け、心理士を派遣する事業を継続して行っています。また広く悩みを聞く「こころの相談会」を開催。電話、メールでの相談受付、ラインでの対応が可能な相談機関へのつなぎなど様々なケースに対応できるようにしています。

自民党議員団

あ べ いち ろう

安部 一郎 議員



## 「会議録の作成」「不祥事の再発防止」について

**問** 財産活用等に関する協議内容については、議事録をしっかりと残すということでしょうか。

**答** 意思決定を行う会議等については議事録を作成する必要があることから「別府市会議録作成要綱」を定めましたので、要綱に則り事務を行っていきます。

**問** 元職員が逮捕、起訴されたことは、一職員の問題とは私は捉えていない。間違った職員の考え方や、それに基づいて作られた規約や規則に問題があると思っている。今回の事件は上下水道局だけの問題ではない。水道局は、市長部局で作られた規約や規則を準用するならば、今後、市長部局が主導して第三者委員会を立ち上げ、問題の検証、全ての入札契約の見直し、コンプライアンスの確立等により再発防止に努めるべきと思うが如何か。

**答** 第三者委員会は、任意に設置し検証する組織委員会ですが、まずは今回の事件につい

て、上下水道局において不祥事が発生した事実と原因の究明、再発防止のための調査を徹底的に行い、再発防止策を策定します。そのためにも、上下水道局内に従来からある業務改善委員会の中で検証していきます。委員会では若手職員の意見等を取り入れながら、専門家への相談や、市長部局との連携を図り徹底的に調査し、職員一丸となり再発防止策を策定することはもちろん、一日も早く信頼回復に努めます。

**あくまでも上下水道局が中心となって検証するということなのですね。**



## 別府市上下水道局の汚職問題について

**問**▶ 別府市上下水道局において贈収賄事件が起こり、困惑と不安、怒りを感じる。工事業者の選定プロセスの公明性、公平性の強化、チェック機能の強化、再発防止策はどうするのか。

**答**▶ 今回の不祥事に対する原因究明を行い再発防止策を立てることはもちろん、上下水道局の業務改善委員会において契約等を徹底的に検証していきます。

**問**▶ 贈賄側の業者は問題となった設備更新工事以外に、朝見浄水場の運転管理業務を今も続けている。前代未聞の贈収賄事件を起こしながら、市民生活の根幹を担う公共事業を任せていることに上下水道局として問題意識はないのか。このままで市民の皆様の賛同、理解を得られると考えているのか。

**答**▶ 市民感情として運転管理業務の継続について理解は得られないと思いますが、今回の事件は運転管理契約の解除対象にはならないと認識しています。

**問**▶ 刑が確定した場合、朝見浄水場の運転管理契約について市民感情に寄り添う解決策を取るべきではないか。

**答**▶ 今後の裁判の結果により、新たに考え方を見直す場合もあります。

**問**▶ 贈賄側の業者に元水道局職員が4名も再

就職をしているが、どのように再就職したのか。公務員が利害関係のある企業に再就職することに問題はないのか。今も様々な疑問、疑念、疑惑が生じている。市民の皆様は、今回の汚職事件を受けて「市職員と業者の癒着をなくせ」と思っている。今後、市職員と業者の癒着をどのように断つのか。公務員の営利企業への再就職問題について別府市はどう対応するのか。

**答**▶ 退職者の再就職先の届出制度などの制定を検討します。



## 疫病—インフルエンザ

**問**▶ これからの季節、新型コロナとインフルエンザの両方が流行する懸念がある。現在のインフルエンザの流行状況はどうなっているか。

**答**▶ 今年の3月下旬以降、大分県内のインフルエンザの報告は見られません。これは、こまめな手洗いやマスクの着用など感染症対策が定着した結果だと思えます。

**問**▶ インフルエンザワクチンが不足していると聞かすが、流通状況はどうなっているか。

**答**▶ 厚生労働省によりますと今年のワクチンの製造予定量は、10月時点で過去5年間のうちで1番多い3,322万本となっています。11月下旬にワクチンが不足しているとしていた医療機関もあるとお聞きしていますが、ワクチンは12月上旬にかけて順次出荷されると聞いています。

**問**▶ インフルエンザについても新型コロナと同じく適切な情報発信が必要だと思っている。確かに11月中は、医療機関でもワクチンが注文通りに入荷されない状況があるとのこと、ワクチンの接種を希望しても、いつ実施できるかわからないという状況があった。約1年、コロナ禍で市民の不安が続いているため、医療に関わる正しい情報提供が必要だと考えるが如何か。

**答**▶ ワクチン接種が可能な医療機関など市民に必要な情報については、今後とも別府市医



師会と連携して情報共有を図ります。その中でインフルエンザワクチンの市内の状況等を市民にお知らせしていけるように努めます。

自民党議員団

てつか たかひろ

手束 貴裕 議員



## 学校給食センターの一元化について

**問**▶ 新共同調理場一元化についての議論は十分されたか、また、保護者や関係者への説明が十分なされたかを含めて、一元化を決定した経緯について伺いたい。

**答**▶ 「別府市学校給食施設のあり方検討委員会」から提出された「意見書」を踏まえ、単独調理場と共同調理場を一元化した新しい共同調理場を整備することとしました。整備に向けては、保護者説明会やシンポジウム等を開催し、そこでの意見や要望等を参考にして「整備基本計画」を策定しました。

**問**▶ 新共同調理場での食中毒対策について伺いたい。

**答**▶ 食中毒は、起こさないことを大前提に衛生管理が確実にできる施設を整備する計画です。ドライシステムの導入、汚染・非汚染作業区域の明確な区分を行うとともに衛生管理マニュアルに沿った食品の温度管理や調理員の健康管理を行うなど、食中毒対策を徹底します。

**問**▶ 新共同調理場に炊飯設備を導入することになったが、その理由を伺いたい。

**答**▶ 炊飯施設の視察や委託業者等とのこれまでの話し合いの結果を踏まえ、将来にわたり子どもたちに安心・安全な米飯給食を安定提供することを最優先に考え炊飯設備を導入する方針を決定しました。

日本共産党議員団

ひらの ふみかつ

平野 文活 議員



## 水道局事件とコロナ感染対策

**問**▶ 水道局での贈収賄事件に関与した「東伸

エンジニアリング」への運転管理契約は解除し、直営に戻すべきではないか。

**答**▶ 贈収賄は運転管理契約とは別の契約（機械設備工事契約）で起こったことであり、「東伸」への運転管理契約は令和6年度まで続くこととなります。今後の対応は裁判の動向を見つつ検討します。

**問**▶ 来年度から介護保険事業の第8期が始まる。3年前の第7期計画では保険料が値上げされたが、介護サービス量の実績は予定額を下回っている。また昨年度末での基金は約9億円もあり、第8期の介護保険料は引き下げができるのではないか。

**答**▶ 1月には第8期計画の「素案」を公表し、パブリックコメントを実施する予定です。その後、保険料案は3月議会に提案する予定です。

**問**▶ 11月以降、別府市ではコロナ感染が急拡大し「市中感染」が広がる深刻な事態が進んでいる。長野市長は今議会の冒頭で「日本一安全な観光地別府をめざす」と発言したが、どういった方法でそのような別府にするのか。私は、ホテル・飲食店などの関係者や医療・介護・障害者施設の全員を対象にした定期的な検査により無症状の感染者を発見・保護することが一番有効だと考えるが、どうか。

**答**▶ 市の対策本部会議を11月以降は3回開き、会食や家庭での感染予防の強化を事業者や市民に徹底することなどを決めました。

市民クラブ

もり やま よし はる

森山 義治 議員



## 新型コロナウイルス感染症について

**問**▶ 別府市におけるPCR検査体制は、どのようになっているか。

**答**▶ 平日は市内の医療機関やかかりつけ医など身近な医療機関にまずは電話で相談していただき、医療機関の指示に従い受診、医師の判断によりPCR検査が必要な場合は大分県衛生環境研究センターにて検査することとなります。日曜日と年末年始を含む休日は、市内の日曜・休日の当番医に加え、11月22日から3月28日までは、旧野口病院跡地に開設する別府市医師会発熱外来トリアージセン

ターで検査をすることになります。

**問** ▶ 令和3年になると高校や大学受験また、就職試験が始まってくる。親などが出張後、感染防止のため、無症状であっても自主的にPCR検査を受診する場合があるが費用はどのくらいか。

**答** ▶ 医療機関のホームページによりますと、約20,000円から50,000円程度となっています。

**問** ▶ 今回発売された別府みんなにエール券は、飲食業をはじめ全産業の活性化を図る良い事業であるが、新型コロナウイルス感染症の急拡大により、有効期限の延長が必要と思うが、どのように考えているか。

**答** ▶ 3月末としている有効期限を4月以降も利用できるよう、最大限延長する方向で今後協議していきます。

**問** ▶ これまで産業支援として、ホテル旅館業に対し別府鬼割プラン事業、飲食業に対しては、別府エール食うぽん券などの支援事業を実施しているが、公共交通に対する助成事業についてはどのように考えているか。

**答** ▶ 別府みんなにエール券事業では、クーポン券の用途を限定していないため、交通事業者も登録しています。買い物や飲食などに出かける市民の移動手段として、公共交通機関の利用など波及効果も期待されます。

市民クラブ

み え ただ あき

三重 忠昭 議員



## 「公立幼稚園の役割と責務」「環境行政」について

**問** ▶ 質の高い就学前教育を市内全ての幼児教育施設で推進していくなかで、その中心となりけん引する役割、責務を果たすための要となる存在が公立幼稚園だと考える。教育委員会として公立幼稚園の役割と責務をどう考えているか。

**答** ▶ 公立幼稚園の役割として、地域の幼児教育施設や小学校をつなぐコーディネーターを担うことや、他の幼児教育施設に研修の場を提供することが想定されます。また責務として、特別な支援が必要な園児など、一人ひとりの子どもの状況に応じたきめ細やかな支援

の充実など、地域のセーフティーネットとしての責務があると考えています。

**問** ▶ 2020年第1回定例会においてAPUの留学生より気候変動への早急な対策と非常事態の宣言を求めた請願が採択された。宣言についての別府市の考えは。また、いつ宣言を出すのか。

**答** ▶ 地球温暖化その他の気候変動が人々の生活、社会、経済及び自然界に多大な影響を与えており、別府市としても環境に対する姿勢を示すため気候非常事態を宣言する方向で考えています。宣言の内容については調整中であり、請願者であるフライデーフォーフォーチャー大分の意見等も加味し、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いた時期を見て宣言に結びつけたいと考えています。

公明党

ほり もと ひろ ゆき

堀本 博行 議員



## 高齢者のインフルエンザ予防接種について

**問** ▶ 65歳以上の方は、インフルエンザの予防接種を1,000円の自己負担で受けることができるが、非課税の方は更に申請することで自己負担分の1,000円も免除となる。免除申請の現状はどうなっているか。

**答** ▶ 予防接種法に基づき、65歳以上の方は定期接種としてインフルエンザ予防接種を受けることができ、公費による助成は1人につき年に1回となっています。別府市では、非課税世帯の方を対象に1,000円の自己負担についても免除としており、平成30年度は接種者数21,425人のうち25.9%の5,552人、令和元年度は接種者数22,611人のうち25.6%の5,798人が自己負担免除となっています。

**問** ▶ 予防接種の際、非課税世帯であることを証明するために必要な書類は何か。

**答** ▶ 別府市役所市民税課又は各出張所で発行する所得・税額証明書です。

**問** ▶ 高齢者の中には、証明書をもろうために交通費を使って市役所に来る方もいると聞く。市役所まで来なくてもよい方法はないか。

**答** ▶ 郵送での手続も可能です。具体的には、

①紙に名前・連絡先等とインフルエンザの予防接種で使用するために所得・税額証明書の送付を希望すると記入し、②本人確認用の健康保険証または運転免許証等のコピー、③ご自分の住所を書いた返信用封筒の3点を揃えて、市役所市民税課宛に送っていただければ所得・税額証明書を返信用封筒に入れて返送します。

自民党議員団

しゅ とう 首藤 ただし 正 議員




## 「新型コロナ対策費と財政運営」 「浜脇中学校跡地」について

**問** コロナ禍において、別府市が実施した今までの対策費の総額と市の負担した実質的な支出額はいくらか。また、この対策費が市の財政運営にどのような影響を及ぼしているのか。

**答** 国の補助事業等を含めた令和2年度の現時点（補正予算第9号まで）の対策費総額は、概数で148億1千万円です。このうち別府市の負担額は、22億4千万円ですが、地方創生臨時交付金が交付されるため、市の実質負担額は7億6千万円となっています。預金である財政調整基金は、対策費等で10億2千万円減少し、62億7千万円となる見込みです。借金である地方債は、コロナ禍の影響ではありませんが、大型事業等により28億9千万円増加し、377億5千万円になる見込みです。

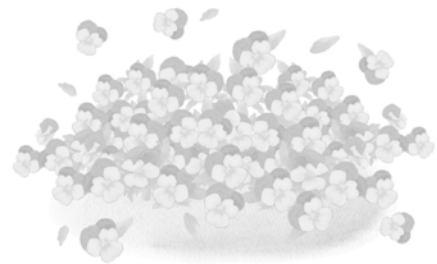
**問** 預金である財政調整基金は、コロナ対策費等で約10億2千万円の減少、借金である地方債は約28億9千万円増加して377億5千万円になり、今後、厳しい財政運営が心配されるが、どのような対策と財政運営を実施していくのか。

**答** ご指摘の点についてはしっかり検証し、将来の市民生活に影響を及ぼさないよう慎重に判断しながら財政運営を行っていきます。来年度の予算編成では、全職員で方向性を共有し、財政規律を守り歳出を抑制するとともに、今後の市の中期財政見通しを守るため、公債費を適正に管理し、有利な地方債も活用していきます。また、自主財源の確保を図る

ため、新税を含めた税制等の見直しについての検討を行います。

**問** 浜脇中学校と山の手中学校の統合により、新中学校が令和3年4月に誕生するが、浜脇中学校跡地の利活用をどのように考えているのか。

**答** 浜脇の自治委員の皆さんからの陳情もありましたので、その要望に応えたいと思います。跡地の利活用について、民間企業からの問い合わせもあり、動きつつありますので、早い段階で跡地利用の方針を示したいと考えています。



## 請願・陳情

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。請願とは、国や県・市に対し要望や意見を述べることをいいます。別府市議会に請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要になります。

詳しくは別府市議会ホームページをご覧ください。か、議会事務局までお問合せください。

なお、令和3年第1回定例会の請願の受付期限は2月18日（木）17時までです。

## 令和3年第1回 市議会定例会会期日程（予定）

3月	1日	議案上程
	4日	議案質疑・委員会付託
	8日	常任委員会審査
	10日	常任委員会委員長報告、 討論、表決
	11～15日	予算決算特別委員会
	16～19日	一般質問
	23日	予算決算特別委員会 委員長報告、討論、表決

※日程は変更することがあります。

# 2常任委員会において所管事務調査を実施

## 観光建設水道委員会

### 「朝見浄水場次亜注入設備更新工事のうちの機械設備工事について」調査を実施

上下水道局から、朝見浄水場設備工事に係る契約に関し、元上下水道局職員が収賄容疑で逮捕されたため、相手方の事業者と契約するに至った経緯等について説明があり、委員からの当該工事の入札に係る審査委員会会議録の有無や利権が発生する会社への再就職等の把握に関する質問については、当該審査委員会の会議録は作成していないこと、また職員の再就職先の把握に関しては、市民に疑惑を持たれることがないように、退職後の再就職先についての届出を義務化する等の検討を行う旨の答弁がありました。委員からは、この件に関して、引き続き議会に対し報告するとともに、水道水の安定供給について市民生活に支障をきたさぬよう求めました。



## 総務企画消防委員会

### 「コロナ禍におけるインフルエンザ流行期の避難所対策について」調査を実施

防災危機管理課より、①分散避難（在宅避難や親戚や友人宅への避難）の推進、②避難所運営の手引の作成状況、③別府市独自の取組である別府市公式ホームページでの情報提供等について説明があり、委員からの災害時の給食調理場の稼働に関する質問については、避難所、学校の調理場は利用せず備蓄物資で対応するが、大災害で長期化した場合には利用を検討するとの回答がありました。

● 本会議を中継しています

● 放送日時

● 放送内容

● 放送メディア

● ケーブルテレビでの中継

● インターネットでの中継

別府市議会では、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、ケーブルテレビとインターネット、スマートフォン、タブレット端末による本会議の生中継と録画中継による本会議の放送を行います。

本会議開催日（午前10時から）

議案の提案理由説明、議案質疑、一般質問など

ケーブルテレビでの中継

CTBメディアとんぼチャンネルで生中継します。

インターネットでの中継

別府市議会ホームページ <https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>

にアクセスしてお入りください。（また、全日程終了後、概ね一週間後から約二年間録画中継を放映しています。）

※議会中継は公式記録ではありません。公式記録は本会議後に調整する会議録となります。

市原 隆生

広報広聴委員会委員

去る十月十四日、萩野忠好議員が逝去されました。献花され、空席となった隣の議席ですが、レポート用紙をぎっしりと埋め尽くした手書きの原稿を片手に質問する萩野先輩の気迫のこもった姿は私たちのお手本でありました。哀悼の意を表すると共に、心からご冥福をお祈りいたします。

さて、新型コロナウイルスの感染は、一旦は収まるやに見えましたが、寒い季節の到来と共に、この別府市でも今までにない広がりを見せています。今議会でも様々な議論がなされていますが、「経済活動をなるべく止めずに、いかに感染拡大させないか」について、真剣に取り組んでいるところであります。

一方で、感染された方への誹謗中傷が社会問題となっています。ウイルスは肉眼では見えないので、個人の落度を問うことはできません。「コロナ禍」と言われ約一年、人と人との距離が遠くなってしまう感覚がありますが、心までもが分断されてはいけません。そのためにも、市民皆様のご意見に耳を傾け、共にこの厳しい事態を乗り越えたいと決意していますので、よろしくお願いいたします。

編集後記